



映画<sup>®</sup>

GIFT

映画GIFTを贈りたくなるアイデア

## ①実際に使用した感想

### LINEとムビチケサイトで映画GIFTを購入してみた

- ・ 決済までのフローはLINEの方がラク。いつものLINEギフトと同じ決済方法で送ることができる。
- ・ LINEは2,200円、4,400円のギフト券しか買えず購入場面に限られるが、ムビチケサイトは1コイン（500円）からギフトを贈ることができる。  
（個人の感覚として、2,200円はちょっとした御礼としては高くて微妙な金額感）
- ・ ムビチケサイトではオリジナルの壁紙を使用することができる



## ②「映画好き」の友人や家族へのプレゼントとしては◎

クチコミを見てみると、映画好きからの評価が極めて高い。  
間違いなく、**映画好きには喜ばれるギフト**だと思った。

趣味は映画、を憶えてくれた！

★★★★★

2025/04/06

仕事仲間から誕生日祝いにもらいました。仕事では長いものそこまでプライベートな話をしていない関係。けれど「趣味は映画」なのを憶えてくれていたようです。嬉しい！

使える店舗が充実 実用的 何回もらっても困らない

誕生日 職場の同僚から

ありがたい

★★★★★

2024/04/14

映画のムビチケをもらいました^^

私はしょっちゅう映画を見に行くのでそれを思っけてくれたんだと思います🥰  
一回分無料で見れるのでありがたく嬉しいです♡

実用的 誕生日 兄弟/姉妹から

映画好きな自分にはとてもよかった！

★★★★★

2025/01/29

大好きな映画を好きなタイミングで好きなものを選ぶ良さ！センスのいいプレゼント🥰🌟

使える店舗が充実 実用的 面白い 誕生日

友だちから

嬉しかった

★★★★★

2024/04/01

映画好きなので選んでくれました。使い方がわかりづらいのが少し難ありますが、映画のギフトは映画好きにはたまりません。

使える店舗が充実 実用的 自分ではなかなか買わない

誕生日 子どもから

### ③ “贈る相手を選ぶギフト”である感は否めない

「映画好き」かつ「よく映画館に行っている」という事前情報を知っている相手でない、**プレゼントしにくい**。自分自身は映画館にはあまり行かないので、プレゼントされると少し困るかも。

「映画ギフト」と聞くと2,000円程度の金額感を想像した。



500円から送れるなら気軽に感じるが、**同じ500円ならスタバを選んじゃう**かも

30代女性 | 未利用者へのインタビュー



幼稚園の送迎、小学校の当番、体調不良や天候不良で急なお迎えなど、  
平日も常にスマホを気にしなければいけないので**映画館に行けない**

LINEギフト | クチコミより抜粋



現状と課題を整理する

## 現状

「映画GIFT」は映画好きからの評価が非常に高い。

しかし、現状は映画好きに向けてのニッチなプレゼントとして利用されており、

贈る相手が限られている印象



## 課題

利用者をもっと増やして、e-GIFTとして選ばれる存在になるには、

映画ギフトをプレゼントしたくなる“動機”が必要

# Gift a Movie, Share the Oshi!!!

推し映画を贈ろう



映画  
GIFT

“推し活”をフックに、

映画を贈る文化をつくります

## 贈る側の体験

### Step 1

推し映画を壁紙にして、映画ギフトを贈る。



✓ 購入時に推し映画の壁紙を使用できる

### Step 2

特典として推し映画の壁紙がもらえる



✓ ギフトを贈る側にも特典がある

### Step 3

プレゼント相手からの感想をもらう



✓ 映画ギフトを通して、推しを語るコミュニケーションが生まれる

## もらう側の体験

### Step 1

映画ギフトを受け取る



✓オリジナル壁紙で  
ギフトを受け取る

### Step 2

使い方ガイドをチェック



※お好きな映画で利用できる

✓使い方ガイド付き  
(使用方法が難しい、という  
コメントが多数あり)

### Step 3

映画館へ



✓映画好きでない人でも、  
おすすめの映画を布教されること  
で足が軽くなる

### Step 4

リレーギフト機能で第三者へ



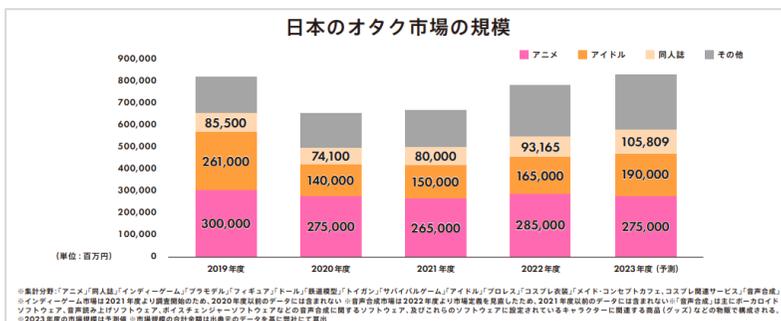
✓面白いと思ったら他の友人にお  
勧めを促す。気軽に送れる500円  
分のギフトをプッシュする

メリット①

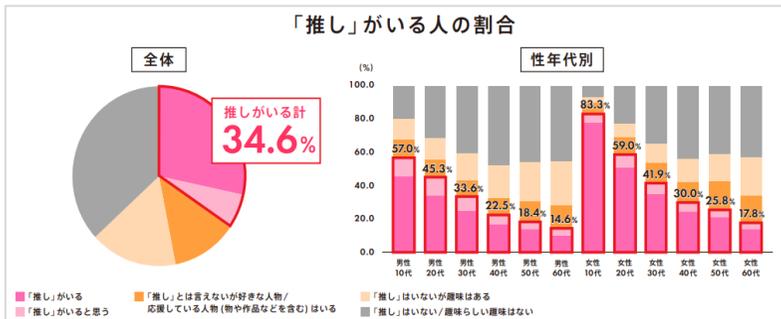
推し活市場を取り込める“確かな市場性”

推し活市場の規模は約8,000億円以上  
3兆円超えとも言われている

また、10-30代女性の推し活率が高く  
 映画GIFT (e-GIFT) のユーザー層と親和性が高い



出典：株式会社矢野経済研究所「『オタク』市場に関する調査 (2023年)」 (2023年12月27日発表)



出典：HAKUHODOHUMANOMICSSTUDIO | OSHINOMICS REPORT 2024

メリット②

推し活と映画は相性が良い

“推し”の俳優・声優・アーティストが出演している  
 映画やアニメの**応援上演**の定着



推し活がカルチャーになる以前から行われていた、  
 映画の**入場者特典**。**リピートの促進**にも◎



メリット③

利用シーンが通年で存在する

映画GIFT×押し活は「押し映画公開」  
というファンベースな動機で贈られるため

年間を通じて需要が見込める

クリスマス  
バレンタイン  
母の日

通年で需要あり

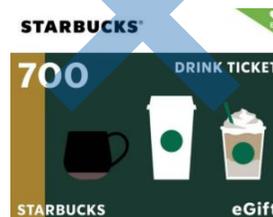
メリット④

デジタルギフトへの“新しい価値提案”

感情的価値 × 体験価値により、e-GIFT市場で  
独自ポジションを構築可能

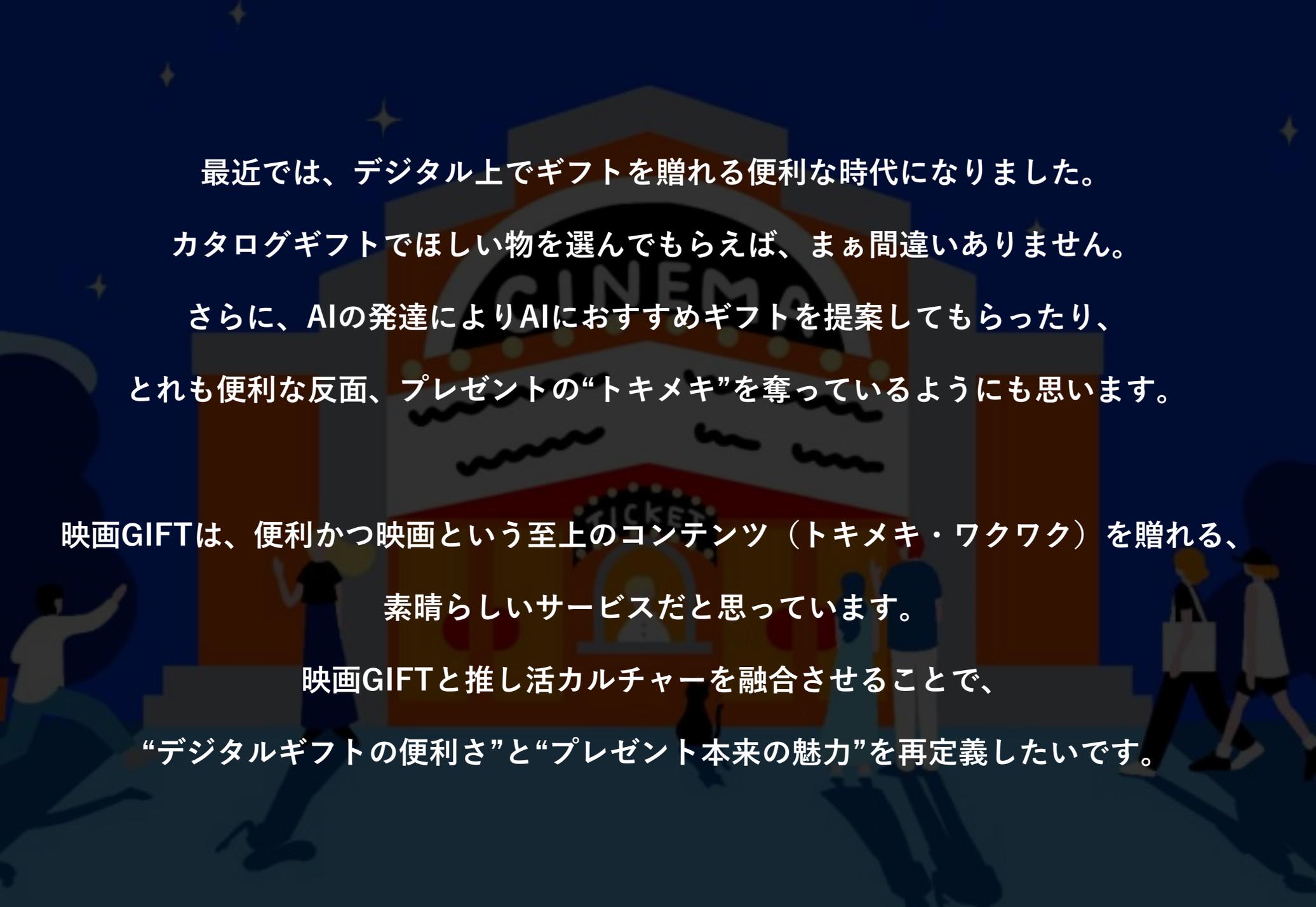
市場は拡大中だが、「無機質・味気ない」と感じるユーザーも多い  
本企画は「デジタルギフトに感情 (=押しへの想い) をのせる」新たな価値提案

便利で気楽



感情的×体験



A stylized illustration of a cinema building at night. The building has a sign that says "CINEMA" and "TICKETS". There are people walking in front of the building, and the scene is set against a dark blue background with stars and a crescent moon.

最近では、デジタル上でギフトを贈れる便利な時代になりました。

カタログギフトでほしい物を選んでもらえば、まあ間違いありません。

さらに、AIの発達によりAIにおすすめギフトを提案してもらったり、  
どれも便利な反面、プレゼントの“トキメキ”を奪っているようにも思います。

映画GIFTは、便利かつ映画という至上のコンテンツ（トキメキ・ワクワク）を贈れる、  
素晴らしいサービスだと思っています。

映画GIFTと推し活カルチャーを融合させることで、  
“デジタルギフトの便利さ”と“プレゼント本来の魅力”を再定義したいです。